**国内肥料資源利用拡大アワード**

**応募用紙**

１．団体情報

|  |  |
| --- | --- |
| 団体名 | （フリガナ） |
|  |
| 代表者名 | （フリガナ） |
|  |
| 団体の区分(該当に✓) | □民間事業者　　　　□団体・組合　　　　□教育機関□地方公共団体　　　□その他 |
| 団体の概要 |  |
| 団体のウェブページ |  |
| 取組の区分(該当に✓) | □原料供給□肥料製造□肥料利用※原料供給から肥料利用まで一体で行っている取組（地域循環型）については取組において最も重要である区分を選択し、（５）その他の欄にその内容を記載下さい |
| 取組名(３０字程度) |  |

２．担当者連絡先

|  |  |
| --- | --- |
| ※担当者氏名役職／部署名 | （フリガナ） |
|  |
| 住　　　　所 | 〒 |
| 電話番号 |  |
| Emailアドレス |  @ |

※本応募に関して事務局からの連絡に対応していただける方をご記載ください。

３．取組概要・詳細

|  |
| --- |
| （１）取組概要（取組の目的と内容を簡潔に書いてください【各１００字以内】） |
| ○目的○内容 |
| （２）全取組区分に共通する工夫や特徴取組において、以下の観点での工夫や特徴について具体的に記載してください |
| （ア）他者の取組には見られない先進的な特徴や独自に行っている工夫等・原料供給例：従来は利用されていなかった資源の利用・製造例：従来は利用が困難であった資源を利用可能にした製法・利用例：従来は化学肥料の使用が主であった農作物への転換（イ）取組範囲の拡大、他者との連携、地域に密着するために行っている工夫・特徴等・共通例：供給先、調達先の近さ（地域内での資源循環）・製造例：販売エリアの広さ（経済性の確保）（ウ）取組の開始年月及び取組を継続させるために行っている工夫や特徴等（例：原料や肥料そのものの調達の安定性に繋がる工夫）（エ）十分な経済効果を創出するために行っている工夫・特徴等・原料供給例：従来は処理費を支払っていたものを有料で販売している・製造、利用例：調達コストの削減（物価高騰、円安影響の緩和）・利用例：地域で製造された堆肥の利用（地域内での経済循環）（オ）他の事業者への波及効果や利用者の環境意識の醸成を図るために行っている工夫・特徴等 |
| （３）取組区分ごとに以下の欄に事項を記載してください（３－１）原料供給・肥料製造（３－２）肥料利用 |
| （３－１）原料供給・肥料製造取組において、以下の観点での工夫や特徴について具体的に記載してください |
| （ア）原料となるバイオマスの全発生量のうち肥料原料として供給している率（量）もしくは肥料の全製造量のうち国内資源肥料の製造率（量）（具体的な数値が分かる場合、記載ください）【原料供給】○原料となるバイオマス（複数種記載可）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　○原料となるバイオマスの全発生量のうち肥料原料として供給している率　　　　％○肥料原料として供給している量　　　　　　　　t/年【肥料製造】○原料となるバイオマス（複数種記載可）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　○肥料の全製造量のうち国内資源肥料の製造率　　　　％○国内資源肥料の製造量　　　　　　　　t/年（イ）肥料原料・肥料として使いやすい形で供給している工夫や特徴等。また、高品質な肥料原料もしくは肥料を供給している工夫や特徴等・原料供給例：水分調整・完熟化・ペレット化等・製造例：BB肥料の形態で成分調整が可能。広く普及している散布機（ブロードキャスター）で散布可等）（ウ）原料や堆肥の保管の際の工夫や周囲に臭気の影響が無いように行っている供給・製造の際の工夫・特徴等 |
| （３－２）肥料利用取組において、以下の観点での工夫や特徴について具体的に記載してください |
| （ア）原料に使用されているバイオマスと従来の化学肥料や海外産肥料から国内資源肥料への代替率（量）（具体的な数値が分かる場合、記載ください）○原料に使用されているバイオマス（複数種記載可）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　○従来肥料から国内資源肥料への代替率　　　　　　　　％○国内資源肥料の年間使用量　　　　　　　　　　　　　t/年○国内資源肥料の施用量　　　　　　　　　　　　　　kg/10a○国内資源肥料を使用して生産している作物　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（イ）本格的な利用前の実証や施肥基準の見直し等、踏まえたプロセスの工夫・特徴等。または肥料を散布する際に効率化・省力化に繋がる工夫や地域内で構築している連携体制等（ウ）国内資源肥料を利用した生産物の付加価値を消費者へPRする際に行っている工夫や特徴 |
| （４）補助金の有無肥料の製造や散布に際し、農林水産省や都道府県より補助金を受けている場合は、その補助事業名および補助金額を記載してください。　今までに補助金を受けている　□有　　□無〇受けた補助事業名及び年度　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〇補助金額　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　○補助金の内容　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| （５）その他取組に関して特にPRしたい点（上記と重複可）や顧客・利用者・関係者から受けた反響や評価等、自由に記載してください。（ア）Ａ４サイズ５枚以内であれば、資料を添付できます。添付する場合は、資料のタイトルを記載してください。なお、データでご提出の場合は、データ容量を５ＭＢ以内としてください。（イ）取組概要が分かるウェブページや動画がある場合は、そのタイトルとＵＲＬを記載してください。（３つまで可。） |
| （ア）添付資料（該当する方を○で囲ってください）　　⇒　　　有（　　　枚）　・　無　資料のタイトル　　①　　②　　③（イ）取組概要が分かるウェブページや動画等のタイトルとＵＲＬ　　①　　②　　③ |

**誓約書**

私は、次の事項について、いずれにも該当しないことを誓約いたします。

１．過去５年において、肥料法やその他法令に関し重大な違反があると認められる者

２．暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成３年法律第７７号。）第２条第２号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）又は暴力団員（法 第２条第６号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）が経営に実質的に関与していると認められる者

３．自己若しくは第三者の不正な利益を図る目的又は第三者に損害を与える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用していると認められる者

４．暴力団員と認められる者

５．暴力団又は暴力団員に対して資金等を提供し、又は便宜を供与する等直接的又は積極的に暴力団の維持又は運営に協力し、又は関与していると認められる者

６．暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有すると認められる者

７．法人にあっては、その役員等が上記１から５までのいずれかに該当する

令和　　　　年　　　　月　　　　日

国内肥料資源利用拡大アワード事務局　御中

所　在　地

団体の名称

代表者氏名

※自署される場合は押印不要です。

㊞：法人印（団体印）と代表者印を押印してください。一般の地域団体で団体印がない場合は、代表者の印を押印してください。